

平成二十四年度 運営方針

あさひが丘学園 旭福祉センター

◆あさひが丘学園

園長 水流 純 大

平成二十四年四月より改正障害者自立支援法及び児童福祉法が施行されることになり、また、平成二十四年四月施行を目途に障害者総合支援法案が国会に提出されている。改正法による制度変更と新法の内容を見極めながら今年度は下記の事項を重点目標に掲げ事業を推進する。

- ① 利用者の個別ニーズを的確に把握し、そのニーズに応じたサービスの提供が行えるような専門的支援技術の向上を図る。
- ② 昨年度に引き続き、個別支援計画作成のための個別職員研修を実施するとともに、個別支援計画事例検討会議の質を高めることにより、職員の専門的支援技術の向上を図る。
- ③ 入所利用者の生活の質を向上させる取り組みを推進する。今年度は特に食生活の充実を図ることを目標とする。
- ④ 嗜好調査や給食意見箱の活用、利用者自治会での意見交換等を通じて利用者のニーズに合った食事提供を行うとともに、楽しい雰囲気や食事がとれるような環境づくりを行う。
- ⑤ 利用者一人一人のニーズに応じた日中活動(生活介護)を実施する。利用者一人一人の状態像に応じた

日常生活支援、創作活動、余暇活動支援、生産活動支援等を行う。また、医療機関と連携しリハビリテーションへの取り組みを推進する。

④ 地域生活支援センターの開設準備を計画的に行い、スムーズな開設を目指すとともに、開設後は在宅サービスを安定的に提供し、利用者の増大を図る。

サービス部門ごと(新規サービスを含む)に計画的に開設準備を進め、ホームページや地域支援室だよりの発行などにより、センター開設についての利用者への周知を図る。また、今年度から対象が大幅に拡大される予定のサービス利用計画の作成について、研修等によりスキルアップを図り、相談支援体制を整えていく。

⑤ 職員研修を充実させるとともに、職員の人材育成を推進するために教育・研修要綱を作成する。

幹部職員及びその他の職員の職能要件書を見直し、幹部職員については十月から目標管理シートを導入し、職務遂行能力の向上を図る。また、勤務年数や勤務の習熟度による教育・研修要綱を作成し、各職員が目標を明確にしたうえで業務遂行ができるシステムを構築する。

⑥ 児童部(障害児入所施設)の将来像について検討を行い、必要に応じて移行作業を進める。改正児童福祉法の施行により、障

害児入所施設は「障害児施設として維持」「障害者施設に転換」「障害者施設と障害児施設の併設」の三つから一つを選択し、六年以内に移行することになったため、まずその方向性を検討する。その際、平成二十三年度厚生労働省研究事業「障害児入所施設における小規模化、地域分散化を推進する上での課題等に関する調査」の研究成果を踏まえ、小規模ケアの実施について検討するものとする。

以上があさひが丘学園の平成二十四年度の運営方針と重点目標である。

◆旭福祉センター

第二旭福祉センター施設長

水流 健 一

現政権下における障害者制度改革推進本部の働きにより、平成二十四年四月一日より利用者負担が原則として応負担となった。二十五年四月施行を目途に障がい者総合支援法案が国会に提出されており、今後も障害者施策の動向に目が離せない状況が続くであろう。折りしも、旭福祉センター(入所・分場)は、平成二十四年四月一日に新体系(就労移行・生活訓練・就労継続支援B型・施設入所支援の多機能型事業所)へ移行することとなった。新法への動向も踏まえつつ、以下の事項を今年度の重点目標に掲げ、質の高いサービス提供を行う。

- ① 利用者のニーズに合わせた支援の提供
- ② 利用者の個別ニーズを作業・生活両面からの視点で的確に把握し、ニーズに合った短期目標・長期目標を支援

援計画に掲げ、利用者支援の向上を図る。

② 新事業の安定と今後の障害者施策の動向注視

新体系移行により事務の会計基準や支援計画書の変更など、個人が受け持つ業務が増大した。今期は各個人の業務が確実に遂行されるよう早期の計画立案と実施を目指す。また、新法の動向に注視し、適切な経営を行う。

③ 職員の育成システムを確立する。

当施設は利用者支援の援助技術および作業の専門技術の向上が業務の両輪となる。よって援助技術・作業技術両面におけるスキルの向上を目指し、職員個々人のスキルアップを目標とした、研修・実習等への積極的参加と社内研修の充実を図る。

④ 人事制度の適切な運用

人材育成を最大の目的とした人事考課制度を軌道に乗せる為、適切な処遇評価を行い各個人のモチベーション向上と支援の質的向上を図る。

⑤ 地域密着型の施設サービス推進

地域に密着した施設を目指し、積極的に地域行事や地域活動に参加する。特に近隣の地域福祉組織との連携を密に行い、地域福祉の増進に寄与する。また、ペーカリー・楓・カフェ ZODOKAという拠点を活かし、地域との交流を深める。

⑥ 製販計画の達成

不況の波は長期化が予測される。今年度は更なる効率化と役割分担の明確化を促進し、職員が一丸となり製販計画の達成を目指す。

以上が旭福祉センターの平成二十四年度経営方針である。

あさひが丘学園

○児童棟耐震工事について

平成二十三年五月に、あさひが丘学園児童棟の耐震診断を行ったところ、耐震強度が国の耐震基準を満たさない区画がある為、鹿児島県の補助事業(社会福祉施設等耐震化等整備事業)をうけ平成二十四年一月五日より三月十五日の期間で耐震補強工事を行いました。

主に児童棟の壁面補強を行う事で耐震強度を高める工事を行いました。工事の結果、国の基準を満たす耐震強度を得ることができました。

工事期間中は利用者・工事関係者・職員の協力もあり、事故なく安全に工事を終えることができました。これからも利用者の安全と安心した生活を送る為の支援を進めていきます。ご協力ありがとうございました。

○ケアホーム改修工事について

地域での生活を希望する施設入所利用者のための、五番目のケアホームを探していた時に、岡之原町在住の田中博様から所有住宅をケアホームとして活用して欲しい旨のお申し出をいただきました。ケアホームとしての基準を満たすための改修は(財)日本財団の福祉拠点整備事業の助成

金をいただき、平成二十四年二月末に改修工事が終了いたしました。

この四月から新「四郎丸」として開所しメンバーも八人になり広々とした空間の中で賑やかで楽しい生活が始まりました。それぞれの個室を個性的なレイアウトで飾り、リビングでは職員や仲間と談笑しながら日々の生活を送っています。

彼らが地域で普通に暮らすことができましたのもご協力頂いた田中博様、日本財団の皆様はじめ関係者の皆様方のおかげと存じます。改めてこの場をお借りし、感謝申し上げます。

○障害者の誤嚥防止の観点から

二月二十二日(水)、菊野病院 総合リハビリテーション部 言語聴覚士 池上敏幸氏による「口から食べ続ける為」の講演に四十七名が参加しました。講演内容は、食べる仕組み、呼吸と嚥下の関係、加齢に伴う機能低下などわかりやすく説明していただきました。講演では、実際におやつと水を使用し嚥下について学びました。普段意識していないことにも気づかされる研修で日頃の食事支援など参考になるものも多くありました。

旭福祉センター

○新年会

一月二十九日(日)にパレスインで旭福祉センターの新年会がありました。利用者、保護者合わせて一三九人の方が出席し、新しい年への抱負や意気込みなど語り合いました。カラオケでは親子で一緒に歌ったり、一緒に踊ったりとそれぞれがとても楽しんでいました。また、毎年恒例になっている新人職員の余興でも利用者が舞台上立ち一緒に歌い、踊るといった場面も見られ、大変盛り上がりしました。

○ナイスハートバザール

二月十七日(金)～二十一日(火)にかけて、ナイスハートバザールが山形屋にて開催されました。菓子・陶芸品・花苗など多数出品し、今回の花苗は、センターで作った素焼きの鉢にピンクや黄色など、色とりどりの花を植えて販売しました。今後もお客様に喜んでもらえるよう、製品作りに励んでいきたいです。

○スプリングクラー

旭福祉センターは今日までスプリングクラーを設置していませんでした。平成二十二年に鹿児島市より国庫補助金申請で助成金を頂けることを知

り、早速申請しました。今年の九月に決定を頂き、十二月に工事をスタート。二月末には、検査・引き渡しとなりました。

○一日旅行

三月二十日(祝日)に一日旅行で平川動物公園に行きました。動物園が改装しているところもあったため、キリンやカバの距離がとても近く、動物が目の前になると「わあ！」驚いて笑っている姿が見られました。また、ホワイトタイガーを見た利用者はガラスにへばりつき、食い入るようにみていました。錦江高原での昼食は色とりどりの料理が並び、おなかいっぱい食べ、カラオケは一人振り付けをしながら歌を歌い盛り上がりしました。七ツ島物産館ではソフトクリームを食べたりお土産を買いつても満足そうでした。一日旅行も無事に終わり、帰りのバスの中では今日あった一日の出来事を楽しそうにたくさん話してくれました。来年はどこへ行くのかな？



「いちき申木野づくし産業まつり」 地方をめぐって

旭福祉センター 利用者
水口 由紀子



私が注目したのは、福岡で活動中のミサング・ミニライブを見に行きました。とっても良かったでしたよ。終わったらシャトルバスに乗って申木野駅まで行って、六三〇円のきつぷを買って鹿兒島中央駅まで帰りましてよ。

去年、二〇一二年十月二十九日(土)と三十日(日)にいちき申木野の地かえて祭りに一人で行きました。まず、鹿兒島中央駅で申木野駅まで六三〇円のきつぷを買い、十時二十五分のJR川内行きJR線に乗って申木野駅まで。申木野駅にいたら、地かえて祭りのシャトルバスに乗ってイベントがあるところまで行きました。残念ながら一日雨でしたので雨が嫌でした。でも雨の中、火花が降りないほうが良かったです。それで、加藤君(センター利用者)と会いました。いろんなブース・イベントがありましたよ。

「二十歳の出発」

あさひが丘学園 保護者
橋口 佳人

た。天気は晴れのち曇りだったので、まあまあだったけど。イベントは、魚つかみ大会・ステーションではシンガーソングライターの福井静さんのミニライブに行きました。後は、ブラブラ歩きました。また、いちき申木野の地かえて祭りに行きたいと思います。でも、福岡活動中のミサングは、ライブでちよつと多かったです。ライブは鹿兒島でもやります。

二十年前、わが家に三つ子が誕生しました。一年目は寝たか起きたかわからない育児に追われる毎日でした。歩き始めると子育ては、ますます大変になってきました。公園で遊んでも三人一緒に遊ぶ事はなく、各々が自分の興味のある方へ向かっていくので夫婦二人でバタバタしていました。二才前になると女の子は名前や二語文を話し始め、正仁も単語を言い始めましたが、勇人は話せず、又こちらの問いかけにも反応が鈍いようでした。二才半の頃、児童相談所で勇人・正仁を診てもらい、「自閉傾向」と診断されました。それから児童相談所、保健所、病院、療育センターでの五年間の療育を経て、武岡台養護学校に入学しました。養護学校に入学した頃からレスパイトサービスや日帰りショートステイ

を利用し始めました。当時は、サービスを利用する人も提供してくれる事業所も少ないでした。中学部に入学する頃になると利用者が増え、利用者の要望に応え、サービスも充実してきました。高等部二年の年末、二人の将来を考え、入所させました。入所させて大丈夫かと不安はありましたが、幼い頃から我が家のように通っていた事と職員の方々の適切な対応があり、順調に馴染んでいました。

「感動したこと」

あさひが丘学園 職員
室屋 大輔

みなさんは、最近、何かに感動したことありますか？今回は、私が最近感動したことについて書かせていただきます。

私は先日あるサッカー選手にすごく感動を受けました。元Jリーガー、塚本泰司さん。塚本さんはサッカー選手として活躍していましたが、三年前、右大腿骨骨肉腫という骨の良性の骨を移植するしかなく、大好きなサッカーはもうろん出来なくなりました。

ました。サッカーが好きな私は塚本さんのプレーする姿を何度もテレビでみていただけに、衝撃的でした。膝には人工関節が移植されたこと聞き、人工関節が移植された足で、走れるようになるまでには数年はかかるそうですが、それから三年が経ち、つい先日の東京マラソンにその塚本さんが出場していたのです。治療で右足は痩せ、筋力もアスリートとして活躍していたころとは比べられないほど落ちてしまっていました。完走は奇跡。塚本さんの担当医はそう告げたそうです。なぜ、塚本さんは奇跡とも言われるフルマラソンを走る決意をしたのでしょうか。塚本さんは言っていました。これまで支えてくれた全ての人たちに、こころで元気になった姿を見せたい。感謝の気持ちを表したいが、と。結果は完走。大病を患いながら、常に目標を見失わず、努力しつづけた結果でした。

本当に塚本さんはすごいと思います。常に夢や目標を持つこと。私は夢や目標を持つことすらせずに、なにか壁に当たれば、目を背けてきました。そんな今までの自分の行動を考えさせられました。塚本さんの次の目標は、また大勢の観客のいるスタジアムでサッカーをする事、Jリーガーとして夢を与えること、だと言います。

きつと、塚本さんはやりとげそうなので、そんな期待を持たせてくれます。そんな塚本さんを、いちファンとして応援していきたいと思ふます。自分自身もこれからは、ほんの少しながらも、小さな事でも、目標や夢を持ちながら、いろいろな壁に向かっていきたいと思ふます。

さんほみち



今回は、旭福祉センターの第二作業所にレポートです。第二作業所はたくさん作業があるため、今回は額縁のみみなさんにインタビューです。
・こんにちは。この作業は何をしていのですか？
利「額縁を作っているよ」
・ここは額縁を作っているのですか。これは何ですか？
利「ネジをつけてる」

・L型の金具にネジをつけているのですか。これはどこに付けるのですか？
利「額縁の四隅につけています」
支「額縁は四本の棒を組み合わせて作るためL金具が無いと枠として固定されないので」
・いろんな作業がありそうですね。他にはどの部品を作っているのですか？



⑥ 仮枠作り



⑦ 額をネジで固定



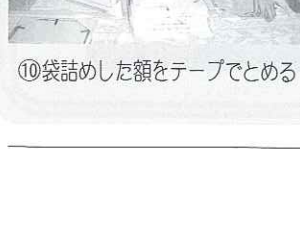
⑧ 仕上げ作業



⑨ とんぼを所定の位置に



⑩ 袋詰めした額をテープでとめる



⑩ 袋詰めした額をテープでとめる



① L金具にネジ付け



② 紐と袋を数え方



③ 紐を丸める作業



④ とんぼ付け



⑤ 釣り金具付け

利「トンボ付け(賞状などの紙を裏で固定するもの)・つり金具付け(紐を付け額を吊るするための金具にネジをつける)・紐をまるめる作業があるよ。」

・額縁を作るには、各部品ごとに作業が分かれているのですか。つり金具は電動ドライバーを使ってネジで付けているようですが、難しいですか？
利「慣れたら簡単。目が疲れてくるけど、出来あがった額縁を見るとうれしくなるから、また頑張る」
・みんなで作るから嬉しさ二倍ですね。ちなみに...どの作業が一番好きですか？
利「トンボ付け・L金具ネジ付け。枠を固定する作業(様々な答えがでてくる)」
・それぞれ好きな作業があるのですか。それ

組んで固定した額縁はどうするのですか？
利「来てー！こっちはだよ」額縁の次の工程へ連れて行ってもらおう

利「仕上げ作業をしているよ」
支「仕上げ作業とは固定した額縁に、表紙や説明書、三角コーナー(額の角をカバーするもの)などを付け、袋に入れてテープを止めるまでの作業をしています。」
・ここも各製品の担当がいるのですか。額縁作りは楽しいですか？
利「楽しいよ。たまに、失敗しちゃうけどね。お昼くらいからだ、作業しながら大きなあくびをしてコックリコックリ居眠りをする人がいるよ。みんなで起こす



↑これは何に使う物でしょうか？



⑩ 袋詰めした額をテープでとめる



←今回は花苗も出品しました。

旭福祉センター

ナイスハート バザール



←お菓子や陶芸品も並んでいます。



←保護者意見交換会

あさひが丘学園



目中II科 活動の様子

日活参 中動観



作品の展示販売

すなつぶ スナツプ



←訓練の様子

あさひが丘学園

不審者対応 訓練



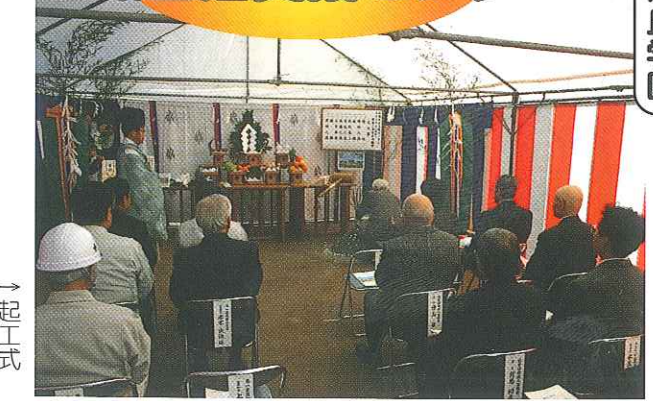
←講話



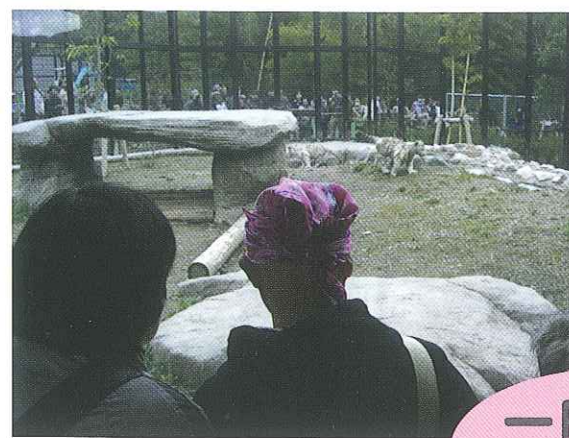
→三月上旬 工事風景

あさひが丘学園

地域生活支援センター



→起工式



→ホワイトタイガーの赤ちゃん

旭福祉センター

一日旅行 (平川動物公園)



←平川動物公園に行きました。



→お土産
決まったかな？



←美味しい昼食に大満足!!



←今年もよろしくー！

旭福祉センター

新年会



←どれにしようかな？

あさひが丘学園



→今年も笑顔で頑張りましょう！



食後のカラオケタイム↑

←好評だった。おでんコーナー。